

工学部自動車部 OB 会に出席して

～50年前を辿る旅～

村田 健吾(昭51 電気)

昨年12月初め、銚田市にある「いこいの村涸沼」で開催された OB 会に、約20年ぶりに出席致しました。ほぼ毎年開催されているOB会ですが、遠方であることや仕事をしていたこともあり中々出席が叶わず、2年前に退職したのを切っ掛けに久しぶりに出席したものです。

久しぶりの旅行でもあり、今回は家内も同行です。家内は日立出身であり、お陰で久しぶりの帰省になったと大変喜んでおりました。

さて、OB 会はというと、温泉で旅の疲れを癒し、お待ちかねの宴会です。歳相応の風貌になり、一瞬分からなかった旧友も、アッと言う間に50年前にタイムスリップ！順番に近況報告をしながら、お互いの歩みを確かめ合い、再会の喜びを噛み締めました。二次会はカラオケ！お互いの人生が垣間見えるような楽しい時間となりました。



OB 会の出席者（昭和50年～52年卒）

矢印が私



北海道遠征（昭和50年頃）

ここで当時の自動車部の活動を少し紹介します。活動拠点の車庫は裏門の傍にありました。部車が3台あり、ラリーに出場したり、北海道まで遠征旅行したり(左写真)、部車に規律正しく向う気持ちを養成するための合宿をしたりと、厳しくも楽しい部活動であったと記憶しています。まだまだ学生にとっては車は貴重な乗り物であった時代で、車に対し今とは違った感情がありました。電気の実験をしているより、部室や車庫にいた時間が長かった学生生活でした。

さて、OB 会の後の二日間は、レンタカーで水戸と日立の旧友や思い出の地を訪ねて、密度濃く走り回りました。宿泊は勝田駅前のホテル。何せ勝田は、茨大受験の時、電車の乗り換えで茨城の地に最初に足を下したところです。

最終日は日立に足を延ばし、友人を訪ねながら、日立銀座通り、神峰公園、工学部、会瀬・河原子海岸などを巡り、50年という時の流れを感じながらも、昔のままの建物、風景もあり、当時を思い出すことが出来ました。

中でも工学部。正門の辺りは大きく変わっていましたが、中に入ると電気工学科などの建物は昔のままで大変懐かしく感じました。自動車部の車庫は場所も移動して小さなガレージになっていましたが、シャッターに書かれた「茨城大学自動車部」の文字を見つけて感激。活動はサーキット走行を楽しむなど、変わってはいるようですが(ホームページ情報)、しっかり継続されていました。

最後は会瀬海岸、河原子海岸と海辺を散策。久しぶりに雄大な太平洋を感じる事が出来ました。

自動車部 OB 会出席と合わせ、家内と二人、50年前を辿る最高の旅となりました。

以上

